

平成29年度 第1回学校協議会 記録

1 日 時

平成29年7月22日（土）11時～12時30分 会議室

2 出席者

学校協議会委員（5名）

地元中学校長、大学院教授、卒業生・元本校職員、元本校教員、元本校教員

学校関係者（5名）

3 議事内容

(1) 会長あいさつ

(2) 委員・事務局紹介

(3) 学校協議会の実施要項等について

- ・ 会長の決定。会長の職務を代理する委員の決定。

(4) 学校経営計画

- ・ 学校経営計画等の資料に沿って、「めざす学校像」、「中期的目標」、「本年度の取組内容及び自己評価」等について（説明者：准校長）

(5) 学校の現状と課題

- ・ 本年度の前期授業アンケート結果について（説明者：准校長）
- ・ 本年度の「在籍者数」、「年間行事予定」、「平成30年度使用教科書選定結果」、学校設定科目「ベーシック教養」及び「昨年度の特別指導」について（説明者：教務主任）
- ・ 本年度の「生徒指導の現状」及び「懲戒指導のまとめ」について（説明者：生徒指導主事）
- ・ 本年度の「学校保健年間計画」及び「健康診断の現状」について（説明者：生徒指導主事）
- ・ 昨年度の進路状況と今年度の進路希望状況について（説明者：教頭）
- ・ 在校生、部活動及び学校行事等について（説明者：首席）
- ・ 中学校訪問について（説明者：首席）

(6) 協議「本校の現状と課題を踏まえた今後のあり方」について

【委員からの意見】

- ・ 「ベーシック教養」の取り組みは単位認定もしており良い取り組みだと考える。2年以降においても取り組んだらよいのではないかと考える。
- ・ 中学校訪問で希望する生徒がおれば人数把握に一役買うのではと考える。中学校の進路指導部会で学校紹介をさせていただきようをお願いしてはどうか。
- ・ 入学時に保護者を学校に向けさせるのが大きな課題である。生徒向け研修会等に、保護者も参加できるようにしてはどうか。
- ・ 暴力的行為に走ってしまう若い世代に向けて、デートDVについて生徒向け講習が今後必要ではないかと考える。
- ・ ICTを活用して生徒の「わかった」を重視するわかる授業を推進していただきたい。
- ・ 不登校や配慮が必要な生徒からの入学希望のニーズが一定数ある。

- ・ 中学校訪問や「ベーシック教養」等新しい取り組みをしており、すばらしい。
- ・ 授業アンケート結果から生徒自身の取り組みが昨年に比べ0.1ポイント上昇している。動機づけをしっかりと行うことで他の多くの能力も向上するという研究結果もあるので良い方向に学校が向いていると考える。
- ・ 学校自己診断の設問「担任以外で保健室・相談室に相談できる先生がいる。」について、生徒が多くの教員に相談を行っているにも関わらず肯定率が63%であるならば、実態を反映しやすくするために生徒が理解しやすい表現に設問を変える必要があるのではないか。

(7) 事務連絡 等

- ・ 第2回は10月25日（水）18時00分
- ・ 第3回は1月27日（土）10時30分